交通安全キャラバン隊が来村
事故大幅減を訴える

全国交通安全キャラバン隊が九月六日横越村を訪れ、田辺総理府総務長官からの交通安全推進メッセージの伝達と交通事故の大幅減少の呼びかけが行われました。

この全国交通安全キャラバン隊は、全国交通安全母の会連合会が交通事故の大幅減少の願いをこめて毎年全国各地に派遣しているもので、今年は「みんなですすめよう交通安全」をスローガンに全国八コースに分れて交通安全を呼びかけています。

九月一日その一隊が富山県から新潟県入りし、県下十六市町村を訪問しているものです。

この日は、渋谷村長をはじめ、黄色のタスキ掛け、スカーフで装った村交通安全母の会（会長 佐久間 順）の人たち三十人余りと役場職員らが出迎えました。

田辺総理府総務長官からの交通安全推進メッセージを加藤県交通安全母の会会長が読みあげ、渋谷村長に手渡しました。

渋谷村長も「祈・交通安全」と書いた色紙をキャラバン隊に手渡し「メッセージの趣旨を十分理解し、交通事故撲滅に努力していきます」と述べ、また加藤県交通安全母の会会長は「交通安全はまず家庭から、お母さんは家庭の管理者で家族の交通事故をなくし、明るい家庭・明るい社会を築きあげましょう」と訴えました。

総理府総務長官からのメッセージを受ける渋谷村長

深刻な高齢化社会

シリーズ No. 4

見直される家族生活

少年・少女の非行、老人の悲劇が毎日のように新聞などで報道されています。

それらの中には両親や家族との接触、団らんの機会が少なく、孤独や放任からくるものが多く、今日の「家族生活」の問題が指摘されています。

進行する高齢化社会に対応していくために、家族生活の再評価を考えていく必要があります。

（参考資料）

横越村の核家族世帯

50年	636
55年	804

家族機能の再評価は幸福の真随追求

経済企画庁が毎年発表する「社会指標」（全体的な生活水準を表わす統計値）によりますと、所得や消費の面をはじめ、健康、教育、仕事、余暇などは、ほぼ生活全般にわたってここ十年おおむね高まっていますが、一つだけ気掛りなことは暮しの基盤である「家族生活」が低下しているということです。

その背景には、離婚、母子家庭、少年の非行、ひとり暮しの老人が年々増えていることがあげられます。

家庭生活の低下は、老人たちにとっても深刻な問題です

わが国の家族生活は、欧米先進国のように極端な核家族化、個人主義化ではありませんが、若い世代の老・親・扶養意識の低下、親世代との同居嫌いなどから年寄り夫婦だけの世帯や、ひとり暮しの老人が徐々に増えていることです。

また、老人福祉は老齢年金や老人ホームなどの公的福祉施設や機関が総べてやるものだ、という考えが私たちの中にあるように見られます。

しかし、一九六〇年代の高度経済成長期の「豊かな社会」では、それが可能であったかも知れませんが、幸か不幸か、七〇年代に入ってから経済のゼロ成長時代になると、財政負担が容易でないことから福祉見直しが検討されています。

その中で「老人福祉は家族の手を活用すべきである」との論議も出ています。

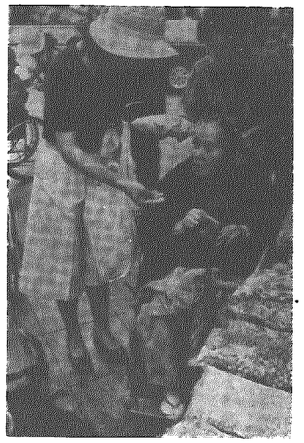
「家族機能の再評価」は、国家財政負担の節約をねらう意味もありますが、本質的には、崩壊に向っている家族生活の建て直しはもとより、老人や少年をはじめとする家族の「幸福の真随」を追ろうということにあり私たちは家族生活の重要性を改めて考えてみる必要があります。

たしかに、異なる世代が同じ屋根の下に住むことは大変むずかしいことです。

老・親・扶養というと、経済的扶養が重点に置かれやすいのですが、それよりも増して親子や孫との温い交流、身体的な介護を期待しているものと思います。老若相互のいたわりが肝心です。

ともあれ、将来どのような居住関係を子どもとの間に持つにせよ、老・親・扶養は子育ての成果であります。

まだ日本は、伝統的な家族の長所が維持されています。従って健全な日本型福祉社会がつくられる可能性をもっており、期待したいところです。


1人暮しのお年寄りに買い物を手伝うボランティアの人

横越村の高齢者世帯

年　　金	50年	55年
65歳以上のひとり暮しの老人世帯	15	12
65歳以上の夫婦だけの世帯	21	32
65歳以上の親族のいる世帯	710	767

火の用心　心で用心　目で用心

秋季火災予防運動　10月6日～11月1日

小柳和芳さん
県果樹振興協会長賞を受賞
新潟地区梨果実共進会

新潟地区梨振興協議会では九月二十二日から二十四日までの三日間、第十四回梨果実共進会を新潟市園芸センターで開催しました。

この共進会には、新潟市、亀田町、横越村の園芸農家から百七十一点の廿世紀梨が出品され、その出来ばえを競いました。

この内横越村からは六十点が出品され、小柳和芳さん（二本木）が一等に入賞、県果樹振興協会長賞を受賞した外、二等に七人、三等に八人が入賞しました。

この入賞者の表彰式は二十四日同会場で行われ審査に当った県農林水産部専門技術員室の渡辺専門技術員は、次のように今年の出来ばえを講評しました。

「台風十号の影響ですぐられたが、結果的には玉の太りも良く、天気の良い日が続いたため、例年にない高糖度が出た」と話していました。

展示された梨は即売も行われ、市価の二、三割安とあって会場近くの主婦らが、安くておいしそう、と沢山買い求める姿がみられました。

横越村農協賞を受けた塚原さん

横越地区の入賞者

一等　県果樹振興協会長賞　小柳　和芳（二本木）
二等　横越村長賞　坪谷　雅博（木　津）
二等　亀田郷土地改良区賞　井越アヤ子（二本木）
二等　県会議員賞　井越　仙一（二本木）
二等　新印中央青果賞　仲村ミサヲ（二本木）
二等（果）上越青果賞　藤崎　寛作（二本木）
二等　柴田屋賞　今井　照雄（木　津）
二等　横越村農協賞　塚原　敏（二本木）
三等　新潟地区梨振興協会長賞　久保田仁一（二本木）

〝国民年金〟移動相談所開設

10月18日
公民館

十月一日から「国民年金制度推進月間」が、全国一斉に始まりました。この月間の目的は、国民年金をよりよい制度に発展、充実させるためみなさんに制度の内容や仕組みを知ってもらうとともに、制度に対する理解を一層深めてもらうことにあります。

現在、わが国には厚生年金や各種共済組合の年金など、八つの公的年金制度があって国民年金は一番最後に出来ました。これまでの公的年金制度は勤め人だけのものでしたが、国民年金の誕生によってすべての国民が年金の恩恵をうけられる国民皆年金制度となりました。

村では国民年金制度推進月間にあたり、次の要領で年金移動相談所を開設いたします

常日頃から年金について疑問を持ち聞きたいと思っている方は、せっかくのチャンスですので、お気軽においで下さい。

当日は、新潟東社会保険事務所の相談員が、国民年金のほかに厚生年金や、社会保険などについても相談に応じます。

◎期日　十月十八日（月曜）
　　午前九時半～正午
◎場所　横越村公民館

◎十月十八日から昼休みの窓口業務を開始

役場の昼休みの窓口業務は十月十八日（月）から行うことになりました。

これは、時代の流れと行政をとりまく環境の変化による対策の一環として開始するもので、取扱う業務は、左記のとおりです。

記

1. 婚姻届
2. 死亡届（埋火葬許可証）
3. 戸籍・住民各謄抄本
4. 戸籍記載事項証明
5. 印鑑登録並びに証明
6. 高額療養費の申請
7. 葬祭費
8. 土地の所有証明
9. バイク標識交付

横越歌壇

佐藤　正夫（二本木）
白倉　伸（二本木）
遠藤　鉄蔵（二本木）
阿部　英男（木　津）
佐藤　林雄（木　津）
井越嘉兵衛（二本木）
原　重夫（二本木）

炎天に耐えきて久々降る雨に
急に艶増すつぶら茄子の実　串田　キセ

支えもせず地に植えおきし竜胆の夏逝く庭に確と生きずく　白柏　紗妥

雨の日は麻帽子かむり通いたる学びし庭の松なお青し　佐藤作太郎

たえまなく吹きつくる原の風
強し稲架木の枝がヒュウヒュウと泣く　中川美英子

うつせみの人の心と阿賀の水
日々色変え流れいるなり　長谷部静恵

抱かれて触るる髪をば厭いにし亡父の思い出遠くなりたり　南場　愛子

道のべにいずこより来しか草にまじりひっそりと咲くコスモスの花　佐久間　順

信濃川五十万都市の人の波夜空に開く饗宴の火よ　中川マツノ

道のべに一輪残る月見草逝く夏惜しむか左右に揺れつつ　鈴木　春枝

そぼ濡れて秋海棠の花の散る
秋雨前線今日もたむろす　建部　すま

颱風に傷めつけられし百日紅
咲き揃う朝の空澄み渡る　遠藤　左岸

田の祠老人クラブの刈り伏せし草の香すがし風吹きくれば　戸石ジュン

朝まだき華麗に咲きしハイビスカス惜しまれつつも夕べ閉じゆく　小田トキイ

初秋の風がゆくえを知るごとく稲穂の原を黄金に染め行く　田辺タケノ

みまかりし母の忌五年となる朝まゆみ彩増し正信偈誦す　田村きよし

輪になりし莫の煙くずれつつ窓より空へ逃げてゆきたり　田村　忠雄

収納代理金融機関に新潟相互銀行北越銀行を指定
口座振替が便利

納税者などの利便を図るため、十月一日から新潟相互銀行亀田支店と北越銀行亀田支店の二行を、村の収納代理金融機関に指定しました。

指定された金融機関の取扱う種類は、村県民税（法人割含）固定資産税、軽自動車税国保税、保育料（児童館使用料含）です。なお、口座振替による納税は、手間が省けて便利ですので、希望される場合は各指定金融機関へ申し出てください。